



## 心臓が、寝ている間も動き続けているのはなぜ

### 心臓が動き続けているひみつは、心臓の筋肉

心臓が、わたしたちが寝ている間も、決して止まることなく、動き続けているひみつは、心臓の筋肉にあります。

心臓の筋肉は、体のほかの部分の筋肉に比べ、特別じょうぶにできているのです。そのため、心臓にしかないこの特別の筋肉は、規則正しい収縮運動により、強い力で血液を送り出しているのです。この筋肉が動くおかげで、心臓も動いているというわけです。

そして、心臓のもう一つのすばらしい特徴は、心臓は、脳の命令で動いているのではないということです。ふつう、体のほかの部分の筋肉は、脳の命令で動いていますが、心臓の筋肉の場合は、脳とは関係なく、心臓の中にある特別のしくみによって動いているということです。そのため、心臓は24時間動き続けているのです。

### 心臓は、24時間動き続けている、血液のポンプ

心臓は、血液を送り出し、体のすみずみにまでとどけるための、ポンプの役目をしています。血液は、体にあみの目のようにはりめぐらされた血管を通り、わたしたちが、生きていく上で必要な、酸素や栄養を、体じゅうにとどける、大切な役割をはたしています。そして、心臓にもどってくるときには、二酸化炭素など、体のいらなくなったものを、運んでくる役目もしているのです。

このように、わたしたちが生きていく上で、大切なはたらきをしている心臓は、わたしたちが寝ている間も、決して止まることなく、24時間動き続けなければならないのです。（監修・保志 宏）

